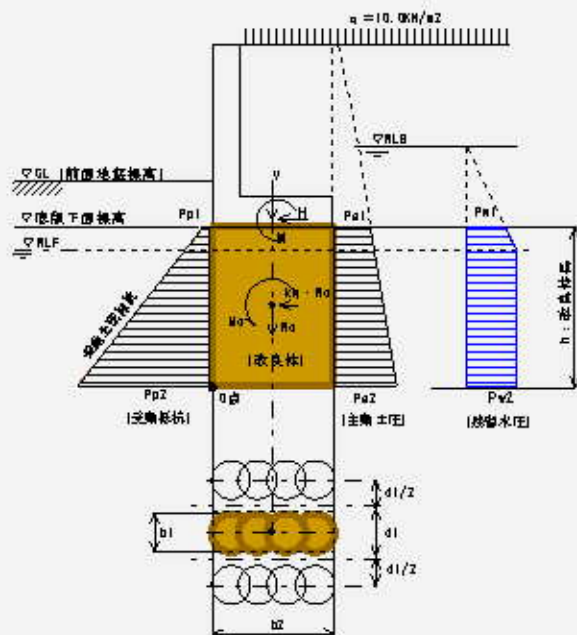


改良地盤の設計(建築)

■ 荷重モデル

(日本建築センター 対応版)



※建築基礎(べた基礎・独立基礎・布基礎)、擁壁基礎に対応。



■ 改良体の配置

※ラップ配置・非ラップ配置のすべての計算ができます！

ラップ配置		非ラップ配置	
【壁形式】	【ブロック形式】	【杭形式】	【接円形式】

【機能概要】

沈下計算(圧密・即時)ができます。

- 改良体の支持力照査は、複合地盤としての鉛直支持力および改良体が独立して支持するとした場合の鉛直支持力を検討し、厳しい方で「改良体頭部の応力照査」「改良体底部の支持力照査」を行います。
- 改良体の曲げ照査は、最大曲げモーメントに対して「圧縮応力度照査」「引張応力度照査」を行います。
- 改良体のせん断照査は、改良体に作用する水平力に対して「最大せん断応力度照査」を行います。
- 抜け出しの照査は、壁形式で偏土圧を受けかつ改良体間隔が大きい場合、前面と背面の土圧差により改良体間の現地盤が抜け出す可能性がある場合に照査するもので、検討可否の選択ができます。
- 検討ケースは最大8 ケースに対応し、「常時」「中地震動時」「大地震動時」の計算ができます。
- 改良体の配置は「壁形式」「ブロック形式」「杭形式」「接円形式」に対応。(べた基礎・独立基礎・擁壁基礎・等

【適用基準】

●建築物のための改良地盤の設計および品質管理指針「セメント・茶固化材を用いた深層・浅層混合処理工法」(日本建築センター)に準拠。

※「連番設定」機能により出力編集できます。連番設定機能とは、出力書類の章・節・項の番号振りも編集する機能です。

* 記載価格には消費税が含まれておりません。

(株)ネオセルコ システム開発部

広島市東区福田一丁目304-3

TEL: 082-899-8891 FAX082-899-5901